



## 日本語学習者とメンタルヘルス

— 今、まさにケアを必要としている方に対して —

日本語学習者を取り巻く環境は日々多様化・複雑化しています。日本語学習者には異文化という新しい環境に対する適応が求められますが、適応に苦勞する場合も少なくありません。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、学習・生活への不安や収入減による経済的な問題から心身に不調をきたし、場合によっては、うつ病などの精神疾患が現れることもあるかもしれません。学習者に寄り添った教育現場を実現するために、私たちは何ができるのでしょうか。また、何をしてはいけないのでしょうか。今回の勉強会では、日本語学習者のメンタルヘルスについて、基礎的な知識と対応方法、専門家に任せるべきことについて、一緒に学びたいと考えています。

**日時：2020年9月13日(日) 14:00～16:30 (JST)**

**参加費：会員 1,000 円、非会員 1,500 円**

**定員：80 名 (要事前申込) 申込締切：2020 年 8 月末日 (ただし、定員になり次第締切)**

**対象：日本語教育に携わっている方・これから日本語教育にチャレンジしたい方**

メンタルヘルスにかかわる対応について基本的なことを知りたい方

**実施方法：Web 会議システム Zoom を用いたオンライン開催で実施します。**

Zoom を利用するための事前準備や接続方法等については、  
後日、申込者に対してメールにてご案内いたします。

**申込方法：日本語教育学会ウェブサイトの「マイページ」から事前申し込み。**

非会員の方もマイページ登録をしてお申し込みとなります。[詳しくはこちら](#)。

**主催：公益社団法人日本語教育学会 (担当：チャレンジ支援委員会)**



日本語教育学会  
HP はこちらから

**第 1 部 講演「多文化共生社会におけるメンタルヘルスの基本」(14:10～15:40)**

**講師：阿部 裕 氏 (四谷ゆいクリニック 精神科医, 多文化間精神医学会前理事長)**



1976 年、順天堂大学医学部を卒業し、自治医科大学精神医学教室で多文化間精神医学を学び、1989～90 年、スペインのマドリッド大学へ留学。2003～2019 年、明治学院大学心理学部教授。また、2006 年 3 月、多文化外来として、東京に四谷ゆいクリニックを開設(院長)。主要著書に『多文化精神医療』(2019 年、ラグーナ出版)がある。

**第 2 部 質疑 (16:00～16:30)**

事前に講師あての質問等を受け付けます。

当日はそれをもとに司会者が講師に質問し、お答えいただく形をとります。



問合先：公益社団法人日本語教育学会 (チャレンジ支援委員会)

TEL:03-3262-4291 (9～18 時のみ)

E-mail:challenge@nkg.or.jp



公益社団法人

日本語教育学会